

## 令和2（2020）年度 資源評価調査報告書

種名	アオメエソ	対象水域	太平洋中南部
担当機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 水産 資源研究センター	協力機関名	愛知県水産試験場、高知県水産試験場、 宮崎県水産試験場

### 1. 調査の概要

- ・太平洋中部・南部沖合底びき網漁業漁場別漁獲統計が利用可能である。
- ・宮崎県では、アオメエソ類について、漁獲量及び深海えびびき網漁業の努力量（日・隻数）あたり漁獲量により、資源レベルと動向が評価されている。なお漁獲量は銘柄別で整理されている。
- ・高知県では、漁獲量及び沖合底びき網の1曳網あたり漁獲量により、水準と動向が評価されている。

### 2. 漁業の概要

- ・太平洋中部・南部沖合底びき網漁業の対象種である。2019年の1そうびきによる漁獲量は、中部において300トン、南部において52トン、2そうびき（南部）による漁獲量は2トンであった。
- ・宮崎県では、アオメエソ類の漁獲はすべてが深海えびびき網漁業による。漁獲量は2016年以降300トンを超える水準にある。2019年は374トンであった。

### 3. 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：日本周辺での分布は本州～九州の太平洋岸、日本からパラオ海嶺に至る大陸棚縁辺～斜面域。産卵海域はわかっていないが、日本の南方海域に産卵場があり、仔稚魚は黒潮の影響により日本近海に輸送されていると考えられている。着底後は成長とともに分布水深が深場に移動する。土佐湾では、1) 8～2月の間に体長4～5 cmの個体が水深150～200 mの海底に着底、2) 5・6月までに7.5～8 cmに成長して水深200～300 mまで移動、3) 着底から1年で12.5～13 cmに成長して水深300～350 mに移動する（Sakaji et al. 2006）。その後成熟すると考えられるが、成熟個体が得られた記録はない。
- (2) 年齢・成長：土佐湾では、1歳で体長85～90 mm、2歳で体長120～125 mm、3歳で体長145～150 mm。
- (3) 成熟・産卵：成熟個体が得られておらず産卵海域は未解明である。
- (4) 食性：主におきあみ類。小型個体はかいあし類等の小型甲殻類、大型個体は魚類やえび類を捕食する。

### 4. 資源状態

- ・太平洋中部1そうびき沖合底びき網による漁獲量及び過去20年間のCPUE（kg/網）の変動を図1に示した。CPUEは2000年～2008年にかけて増加し、それ以降2019年まで50～80 kg

台/網で変動しながら推移している。また太平洋南部1そうびき及び2そうびき沖合底びき網による漁獲量並びに過去20年間の1そうびきCPUE (kg/網)を図2に示した。CPUEは2017年に252 kg/網に急増し、2018・2019年も147・112 kg/網と、2016年以前より高い水準で推移した。

- ・宮崎県では、平成30年度において、深海えびびき網漁業のCPUE (kg/隻・日)により、アオメエソ類の資源レベルは高位、動向は横ばいと評価された（宮崎県水産試験場 2018）。
- ・高知県では平成28年度において、高知県における沖合底びき網のCPUE (kg/網)により、水準は中位、動向は減少と評価された（高知県水産試験場 2017）。

## 5. 資源回復などに関するコメント

- ・生物特性や資源構造に不明な点が多いが、重要な底魚類として継続的なモニタリングが必要である。

## 6. 引用文献

Sakaji, H., H.Honda and K.Nashida (2006) Growth and ontogenetic migration of greeneye *Chlorophthalmus albatrossis* inTosa Bay, Pacific coast of South-Western Japan. Fisheries Science, **72**, 1250-1255.

宮崎県水産試験場 (2018) 資源新規評価⑩アオメエソ類資源評価票 第8回 (2018) 宮崎県沿岸資源評価 <http://www.mz-suishi.jp/result/result0.html> 平成30年度

宮崎県水産試験場 (2020) アオメエソ類 既評価その他の魚種 第10回 (2020) 宮崎県沿岸資源評価 <http://www.mz-suishi.jp/result/result0.html> 令和2年度

高知県水産試験場 (2017) アオメエソ 高知県海域における漁海況と主要魚種の資源生態 <https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/files/2017031500070/aomeeso.pdf>

### 参考資料

茨城県水産試験場 (2020) アオメエソ 茨城県産重要魚種の生態と資源

[https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/suishi/teichaku/documents/aomeeso\\_r01.pdf](https://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/suishi/teichaku/documents/aomeeso_r01.pdf)

山崎幸夫 (2018) 漁獲統計情報からみた茨城県沿岸の底魚類の資源動向. 東北底魚研究, **38**, 52-56.

福島県水産資源研究所 (2020) アオメエソ 福島県版資源評価票

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/405982.pdf>

海洋と生物 (2008) 179号 特集「メヒカリという魚」

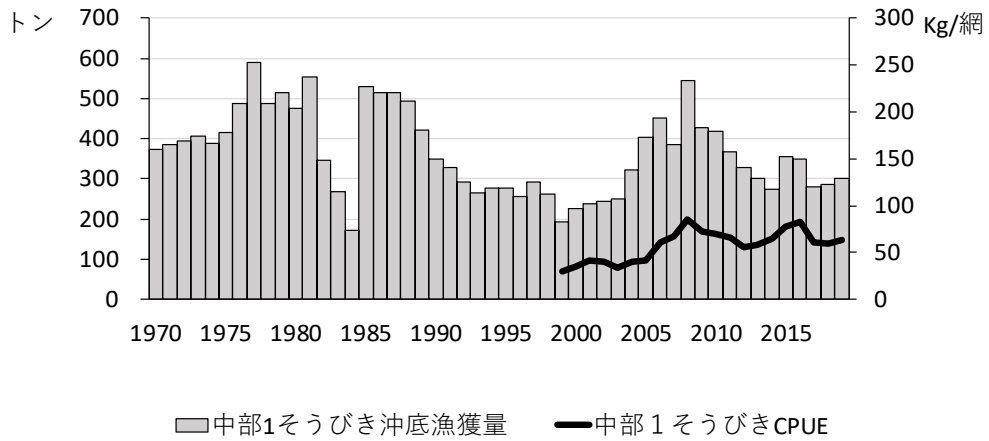


図1. 太平洋中部1そうびき沖合底びき網による漁獲量及びCPUE (kg/網)

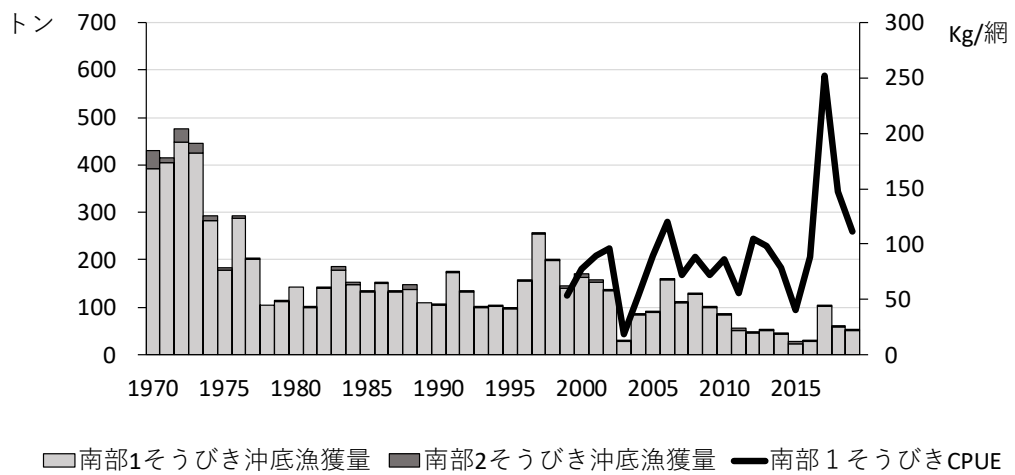


図2. 太平洋南部1そうびき・2そうびき沖合底びき網による漁獲量並びに1そうびきCPUE (kg/網)